令和７年産　赤とんぼ米コシヒカリ　栽　培　暦

（　3月20日　播　種　）
（　4月25日　田植え　）

北九州普及指導センター
ＪＡ北九

月別	3		4			5			6			7			8	
旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬

水管理

浅　水　／　間断かん水　／　中　干　し　／　間断かん水　／　湛水　／　間断かん水　／　落水

生育ステージ

播　種　（一箱当たり150g播き）

移　植　（株当たり3～4本植え　坪当たり50～60株植え）

B栽培選択除草剤

B補正除草剤

B選択殺虫

50日　40日　30日　20日　10日　0日
出穂までの日数

有効分げつ終期　／　穂首分化期　／　幼穂形成期　／　出穂期（7/15頃）　／　穂揃期

刈　取　（成熟期 8/18～22頃）

管理のポイント

アヅミンの投入　40kg
又は
堆肥投入　2t
土壌改良材の散布
○土づくり
○収穫後早めの耕起
○落水はなるべく遅く
○イネカメムシに注意

穂肥
きたきゅう水稲用追肥　30kg
幼穂3mm

※中干し
15～20本で早めの中干しの実施を！！

良食味対策に
けい酸加里　20kg

予備干し（小ヒビ）

溝切り

補植苗の除去

又は

基肥
苦土入複合242　30kg
（側条の場合）ベスト444　25kg
35kg

良食味対策に
けい酸加里　40kg
りん酸・苦土の補給に
リンスター30　30kg
丈夫な稲作に

移　植
深植防止
早めに間断潅水

いもち病の多発ほ場は基準より5～10kg程度の減肥を！！

病害虫

紋枯病
枝梗いもち
穂首いもち
カメムシ類
イネカメムシ
ウンカ類
葉いもち
雑草
ムレ苗
苗立枯病
シンガレセンチュウ
ごま葉枯れ病
いもち
ばか苗病

防除農薬

育苗管理参照

A・B共通 種子消毒　：　温湯消毒
赤とんぼA　：　農薬不散布
赤とんぼB　：　減農薬栽培（4成分以内）

	B栽培選択除草剤		A栽培除草		タニシ対策ＡＢ共通	B栽培補正除草剤										B栽培選択殺虫剤				
						広葉		イネ科		両方										
	ゼータプラス1キロ粒剤	ゼータプラスジャンボ	ゼータプラス FG剤	ジャンボタニシ除草機	スクミンベイト3	バサグラン粒剤	バサグラン液剤	クリンチャー1キロ粒剤	クリンチャーEW	ワイドアタックSC	アトリ豆つぶ250	高温多雨時に注意	畦畔の見回りを行う 畦畔雑草の草刈	※出穂後の畦畔除草はしない	トレボンEW	トレボン粉剤DL	※航空防除	トレボンエアー	《防除注意点》 ☆殺虫剤散布時期（B栽培のみ） （イネカメムシ） 出穂期頃から発生の可能性があるので、発見次第トレボンを散布 （通常のカメムシ類） 予防の場合は、トレボンを穂揃いから10日後頃散布 ※開花期の農薬散布はミツバチへの影響が懸念されるため、養蜂が行われている地区では、散布授記、時間帯に注意する！ 農薬散布時はドリフトに注意する！
※減農薬成分数	②	②	②		⓪	①	①	①	①	①	①				①	①		①	